



第4回 一中×花善 コラボ・プロジェクト会議



6月19日(水)に第4回会議を行いました。今回は、大館商工会議所 副会頭・大館市ふるさと納税事業所会長の白川 懸士さんに来校していただきました。ふるさと納税についての基本、現状や課題。そして全国での納税額が多い県について紹介していただきました。大北総体、そして振替休業日後、そしてテスト勉強期間でもあり。やや疲れがあるのでは?と想着ていましたが、講話を真剣に、反応よく聞いているコラボ・プロジェクトメンバーでした。

秋田県のふるさと納税額ベスト3

順位	地域	納税額(およそ)
第1位	仙北市	19億円
第2位	北秋田市	14億円
第3位	大館市	11億円

仙北市では、主に米の返礼品が多いとのこと。玄関前まで運んでくれるのでとても便利ですね。また、第2位の北秋田市との差はそんなに大きくはないですね。

全国のふるさと納税額の多い地域

順位	地域	納税額(およそ)
第1位	宮崎県都城市	195億円
第2位	北海道紋別市	194億円
第3位	北海道根室市	186億円

宮崎県は特産のお酒や畜産物。北海道ではカニ・イクラといった海産物が有名のようです。地産地消、その地域の特性が上手に生かされています。

北海道紋別市の人口は大館市の約1/2とのこと。そのためふるさと納税金を活用して、「給食費の無料化」「施設の修繕・改築費」「道路の設備・修繕」などと様々なことに活用されているようです。潤っていることはとてもいいことですね。ちなみに、大館市への税金では、タブレットの購入等に使われているようです。さらにふるさと納税の仕組みとしてとても重要なことがありました。

～ふるさと納税の使い道～



大館市ではふるさと納税による寄付金を《子育て支援》、《教育支援》、《自然環境の保全》、《高齢者の方々の生活支援》、《秋田犬のふるさと大館に関する事業》に分類され、使用目的別に割り振られるそうです。そして、どの分類に使用されるかは、納税者が決定権をもつとのこと。昨年度の割合を見ると、納税額全体の約25%は教育支援に使われているとのことでした。